



工夫を凝らした服装を提案した農作業着ファッションショー

初の農作業着ファッションショー 工夫の作業着に喝采！ ～女性部二ツ井支部・冬期講座～

仁館地区



種梅地区



富根地区



二ツ井地区



切石地区



荷上場地区



天神地区



女性部二ツ井支部の冬期講座が3月7日開催され、農作業着ファッションショーを開催しました。冬期講座はこの日が第5回目で最終講座となり、部員85人が参加。女性部初の試みとして「二ツ井ガールズコレクション」と題し、農作業着ファッションショーを企画し、農作業が楽しくなるような作業着を披露。支部の7地区から部員51名がモデルとなり、おすまめの農作業着を紹介。寸劇を交えた発表は笑いを誘い、会場を盛り上げておりました。



能代市と連携協定書を締結した各団体の代表者

後継者不足解消へ ～「事業承継に関する連携協定書」締結～

能代市が中心となり、後継者不足で悩む事業者に対し「継業バンク」による後継者探しを紹介し、事業承継に係る啓発を行うものです。今後は13者それぞれの強みを活かしながら事業承継のPRや担い手確保・支援機関連携によるマッチング支援など、円滑な事業承継を後押しする事業を展開する予定。当JAでも管内の農業後継者不足と地域課題の解決を図るため、事業承継の分野で能代市と協力し、地域の発展に寄与することとしています。

能代市が行う事業承継支援に関する連携協定締結式が3月28日に能代市役所で行われ、関係者が出席し連携協定を締結しました。この協定は能代市、能代商工会議所、二ツ井商工会、管内金融機関6者、あきた白神農業協同組合、日本政策金融公庫、秋田県事業承継・引継ぎ支援センター、ココホレジャパン(株)の13者が相互に連携・協力を行い、事業者の円滑な事業承継を支援することにより、持続的な発展を目指すことを目的に締結されました。



最新の農機具に関心を寄せる来場者

低コスト農機の利用促進へ ～農機展示会開催～

春の農繁期突入を前に、能代農機センター前で3月13日、農機展示会を開催しました。展示会は組合員の総合的な営農支援や低コスト農機の利用促進、アフターフォローを目的に開催。15社の農機具メーカーが、トラクターや田植え機、管理機など最新の高性能機から小型機まで幅広い農機具を100点ほど展示販売。メーカー担当者などが使用方法や特徴を説明しながらJAグループが、生産者の声を反映して開発した共同購入トラクターや、「白神ねぎ」の規模拡大に伴うネギ移植機などに関心が集まりました。

地域を支える存在に ～青年部臨時総会～

青年部は3月15日、第26回臨時総会を開催し、24年度の事業計画などを決議しました。臨時総会には部員ら24名が出席。23年度は幼稚園・小学校を対象としたネギ掘りや学校教育田などの食農教育活動や、子ども食堂への食材提供、廃プラスチック収集、種苗会社との懇談会など、意欲的に活動を展開して来ました。24年度の活動についても引き続き食農教育活動や、地域貢献活動を通じて地域農業の振興を目指すとともに、地域を支える存在として、食と農の繋がりを伝える取り組みを進めてまいります。



新年度に向けて挨拶をする大塚部長

優秀賞
あきた白神
農業協同組合長賞



よねしろファーム 様

県営の経営体育成基盤事業・農地集積加速化型として能代市二ツ井町下田平地域の基盤整備を促進。
農地集積を図り、効率的、持続可能な農業の実践に取り組んでおり、管内稲作農家の指標となる経営体。

最優秀賞
藤里町長賞
小森 武様



水稻を主体に担い手不足の著しい地域において、水稻の規模拡大を積極的に図っている。
町の振興作物である「りんどう」「自然まいたけ」を栽培するなど、各種品目についても栽培するなど農業振興に取り組む。

優秀賞
あきた白神
農業協同組合長賞



佐々木 良太郎 様

各種講習会にも積極的に参加するなど栽培技術を研鑽し、平年に近い品質で「白神ねぎ」出荷を継続し、高品質なブランドイメージを、市場へ広めた功績は大きい。地域の担い手として、若手農業者の模範として、更なる活躍を期待。

優秀賞
全農秋田県本部長賞
あさかわファーム様



能代市浅内地域の基盤整備を促進し、白神ねぎ栽培を中心に地域農業を牽引。白神ねぎの喫緊の課題となっている農業労働力不足対策において、他業種との連携を通じた農業労働力確保を積極的に活用し、白神ねぎの出荷効率を高め農業者所得の最大化を実証。

功 勞 賞

アスパラ部会前部会長
大 高 勝 信 様

令和2年度からアスパラガス部会長として尽力。きめ細やかな栽培技術で部会を牽引。地域の担い手農家の模範として活躍。

功 勞 賞
山つど部会前部会長
感謝状
JAあきた白神青果物生産
振興連絡協議会前副会長



桜 田 和 浩 様

平成23年度から令和4年度まで、長年に渡り山うど部会長として活躍。若手生産者の育成にも積極的に努め、栽培技術をしっかりと伝承しながら山うど部会を牽引していただいた。



J Aあきた白神
農畜産物生産者大会

農畜産物生産者大会が3月5日、ブラザ都で開かれ、出荷生産者や取引市場、行政、JA関係機関など約180名が参加。優良生産者を表彰したほか、令和6年度の農畜産物販売高62億3429万円の達成を盛り込んだ大会宣言を行いました。

5年度の農畜産物の販売実績見込みは米穀が27億7186万円（計画対比86・9%）、白神ねぎは17億521万円（同81・2%）など、農畜産物全体では50億1665万円（同83・6%）を見込むことが報告されました。6年度の販売高目標は62億3429万円としており、白神ねぎは21億円の大台を目指します。

大会では期待と信頼に応える産地づくりや農業生産の拡大、天候に左右されない生産技術の確立などを盛り込んだ5項目を宣言し、満場の拍手で採択しました。参加者らは次年度へ向けてさらなる生産・販売意欲を高め合い、令和6年度の農畜産物販売高目標の確実な達成を誓い合いました。

令和5年度優良生産者表彰受賞者紹介

最優秀賞
能代市長賞



島 知 範 様

各種講習会等にも積極的に参加するなど栽培技術を研鑽し、適切な栽培管理のもと、白神ねぎの周年出荷を実現し白神ねぎの販売額もトップクラスまで成長。
若手新規就農者やAターン希望者らの模範となる存在。

最優秀賞
秋田県山本地域振興局長賞



山 谷 清 英 様

各種園芸作物を手掛け、複合経営生産者の指標として地域営農の中心的存在。
枝豆栽培にも積極的に参画し、管内随一の栽培規模を誇り、東京卸売市場や京浜地区中央卸売市場での年間出荷量日本一達成に貢献。今後の更なる活躍が期待されている。